5年

よりよい学校生活のために

愛川町立中津第二小学校

単元の特徴(ねらい)とデジタル教科書の活用について

本単元では、自分の意見をもち、互いの立場を明確にして話し合い、意見をまとめる学習を行う。考えを広げる話し合いと、考えをまとめる話し合いの段階を意識しながら話し合っていく。そのためにデジタル教科書の思考ツールを用い、まず自分がどのような意見をもっているか書き出し、自分の考えを整理する。そしてメンバーの意見と比較・検討し、最後にグループでの解決策を共有する。

全時学習活動(全6時間)

全時学習活動(全6時間)			
学習活動 指導事項/留意点	◇指導上の留意点 ◆評価基準(評価方法)	デジタル教科書の活用例	
1 ・これまでの話し合いの様子や学校生活を振り返り、課題意識をもつ。 ・単元の学習計画を設定し、学習計画を立てる。 ・新出漢字の練習をする。	◇これまでの話し合いのしかたについてよい点や 問題点を見つけて、課題意識につなげる。	新出漢字の読み方や使い方を知る。	
②・学校生活の課題を考えて、グループでまとめる。・全体で話し合って、議題を決める。	今後の学校生活に生かせる課題を考えるように促す。◆学校生活を振り返って課題を書き出し、提案している。	「思考ツール」を用いて自分の考えを書き出させる。 「おりよりよい学校生活のために 「あれ物が多い」 「もっとあいさつをした方がいい」 「あっとあいさつをした方がいい」 「「カード」 「「カード」 「「カード」 「「カード」 「「カード」 「「「カード」 「「「カード」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	
★3・議題についての考えを書き出し、解決方法を まとめる。	○「現状の問題点」「解決方法」「理由」の3つの観点から自分の考えをまとめる。◆議題について、学校生活を振り返り、考えを書き出している。	「思考ツール」を用いて自分の考えを書き出させる。 あった人がおう でではないとなる。 「おりたんがおう でではないとなる。 「おりたんがおう でではないとなる。 「おりたんがおう でではないとなる。 「おりたんがおう でではないとなる。」 「おりたんが おう いっとう できる こうしゅう こう こう こう こうしゅう こう こうしゅう こう	

4 ◇音声資料や動画資料を参照し、話し合いの P.131 二次元コードの動画資料「考えをもち寄っ ・音声資料や動画資料から話し合いのイメージ て、話し合う」を視聴し、話し合いの進め方を理 よいところを挙げさせる。 をつかむ。 解させたり、よいところを見つけさせたりする。 ◇多様な立場から意見が出るように、グループ ・話し合いの工夫を整理し、観点として共有す 分けを行う。 る。 考えをもち寄って、話し合う ◆互いの立場を明確にしながら話し合い、グル ・グループで役割や進め方を決める。 -プで解決策を出すためにまとめている。 考えを先に、理由を後に話す。 ・互いに立場を明確にして話し合う。 ◇話し合いの様子をⅠСT機器を活用して、 記録係に「思考ツール」のイメージマップでグルー 音声や動画で残す。 プの話し合いを記録させる。(「どうぐ」のペンを 使ってて書きでもよい) (そうじの人と甘かいてきれいにごきま) (おない人もなかがする) (責任とせてる) 6 ・話し合いでまとめた解決策を共有す る。 ◇あらかじめ設定した観点を意識して、気づい 話し合いの記録の画像データを共有し、全体で ・話し合いのしかたについての気づきや感想を共 たところを出し合う。 解決策を共有する。 有する。

・単元の学習を振り返る。

★③時の指導計画例

【本時のめあて】

議題について自分の考えを整理して、まとめよう

【評価】

議題について、学校生活を振り返り、考えを書き出している。

書き出したものを分類したり関係づけたりして、自分の意見をまとめている。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例 (数字は学習活動の番号)
導入 ①本時の学習課題を捉える。		
②現状や問題点を確認し合い、議題に対してのイメージをもつ。	◇ ペアで議題について意見交換し、議題に対するイメージを共有させる。	
展開 ③「思考ツール」のイメージマップの使い方を知る。	◇イメージマップの作り方や操作の方法を説明する。	デジタル教科書の「まなぶ」→「思考ツール」から イメージマップを選ぶ。(③) 「
④議題についての考えを書き出す。	◇議題について考えたことを、思考ツールを用い書き出す。解決方法、現状の問題点の分析など、思いつくままにカードに書き出させる。◆議題について、学校生活を振り返り、考えを書き出している。	思いつくままに考えを書き出させる。(4)
⑤書き出したことを「現状の問題点」「解決方法」「理由」の3つの観点に分類する。	◇書き出したことを「現状の問題点」 「解決方法」「理由」の3つに色分けして分類させる。	分類ごとに色分けする。(⑤) ***********************************

⑥グループで発表する「現状の問題点」「解決	◇よりよい学校生活につながるように観点ごとに	教科書の例を参考にして、発表の準備・練習を
方法」「理由」を選び、発表の練習をする。	発表する内容を選ばせ、自分の考えをまとめ	する。(⑥)
万/公川を田」と思り、元教の林日とする。	させる。	
	୍ ୯୯୭.	とり (中で) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1
		Lite To Committee Committe
	◇イメージマップをもとに、グループでの発表がで	は は の で で か か か か か か か か か か か か か か か か か
	きるように、発表の準備・練習をさせる。	・ が、 こうえん いっぱい かん かん できない かん といい かん とい かん といい ない といい ない といい ない といい ない といい といい ない といい ない といい ない といい とい
		(です。) (できる) (でさる) (でさ
		1
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
まとめ		
⑦本時を振り返り、次時への見通しをもつ。		